

おおひのもり



北斗市立大野小学校 令和5年2月1日発行

【学校の重点教育目標】

「何事にも意欲的に取り組み、
筋道を立てて考える子」

盲導犬

校長 渡邊 聡

25日間の冬休みが終わり、寒々と静まり返っていた学び舎に、子どもたちの元気な歓声と笑顔が戻ってきました。新しい年を迎え、世界中の全ての子どもたちが幸せな毎日を送れるようにと願う気持ちが、一層強くなったのを感じます。

また、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されていましたが、今のところは落ち着いた状況にあります。5月8日からは感染症法上の扱いが変更されることも決まり、新たなステージが始まることでしょう。いずれにせよ、子どもたちが、学校という社会で毎日貴重な学びを積み重ねていけるよう、SNSの利用も含めて、引き続き健康管理をお願いいたします。

さて、私は、以前ゴールデンレトリバーを飼っていましたが、6年ほど前に亡くなりました。大型犬なので自分の年齢を考えて、もう一頭飼おうかどうか悩んでいるうちに時間が過ぎていきました。そんな時、盲導犬協会のキャリアチェンジ犬飼育ボランティアの記事を目にしました。訓練を受けても盲導犬に向かない犬を家族として迎え入れるボランティアです。北海道盲導犬協会に問い合わせると、雪国なのでラブラドルレトリバーしか訓練をしていないということでした。そこで、日本盲導犬協会の仙台訓練センターに問い合わせると、「ゴールデンレトリバーは頭数が少ないので4~5年は待っていただくことになりまして、北海道は遠いので…」と言われました。気長に待ちながら、体力的に無理だったら断ろうと思い申し込んだところ、半年も経たないうちに連絡が来て、我が家での生活が1年経ちました。まだ、生まれて3年半ですが、パピーウォーカー・訓練センター・我が家と生活の場が3か所も変わり、それがゆえに臆病で繊細で吠えることもよくあるので、飼育経験がある我が家選ばれたのではないかと思います。犬は、言葉で気持ちを訴えることができません。犬の気持ちを想像して、グッド！グッド！とたくさん褒めてあげながら、してはいけないことを厳しく教えてあげる毎日です。しかし、いつも一緒にいるからこそ褒めることが少なくなったり、褒めることを忘れてしまったりすることもあります。犬は、常に飼い主を見つめています。犬は、常に褒められることを望んでいます。叱ることは考えなくてもできるのに、褒めることは意識しないとできません。今年も褒め続ける校長目指して頑張ります。

日・曜日		2月の行事予定
1	水	防犯教室(情報モラル 3年)
2	木	全学年給食あり4時間授業
3	金	委員会
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	全校朝会 んおんばやし(5年)
8	水	
9	木	オンライン授業 全学年給食あり4時
10	金	
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	プレサポ(3・4年)
14	火	防犯教室(情報モラル 4・6年) 小中児童生徒交流(6年) プレサポ(2・5年) んおんばやし(5年)
15	水	街頭指導
16	木	開校記念日
17	金	プレサポ(1・6年)
18	土	
19	日	
20	月	授業参観(1・6年) んおんばやし(5年)
21	火	授業参観(2・5年)
22	水	サポート教室校外学習
23	木	天皇誕生日
24	金	授業参観(1・6年) 通常日課
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	んおんばやし(5年)

ほくと学ジュニア検定!合格おめでとう!

12月26日(月)に「ほくと学ジュニア検定」が行われました。本校からは40人の子どもたちがチャレンジをし、全員が見事に合格をすることができました。1月23日(月)には、1~2級に合格した子どもたちが、教育委員会の方から表彰を受けました。北斗市の未来を担う子どもたちに、市の歴史や文化・自然環境などへの興味を高め、より一層の郷土愛を育むように始められた検定です。来年度も是非チャレンジしてほしいと思います。



5年生 思春期教室開催!

12月16日(金)に5年生を対象に「思春期教室」が開催されました。市の保健士さんたちの指導の下、子どもたちは、妊婦体験の衣装を身に付けて妊娠中の母親の苦労を体感したり、赤ちゃんの人形を相手におむつの取り替え方を体験したりしました。この体験を通して、親の愛情を再確認したり、相手の立場を理解して協力することの大切さを身につけることができたと思います。少子化が大きな社会問題になってきています。社会全体で子育て家族を応援する、そんな温かい環境を整えなければと思います。



~北斗市少年少女ドッジボール大会!!~

新型コロナウイルス感染症の第8波により延期になっていた第16回北斗市少年少女ドッジボール大会が、1月15日(日)に無事開催されました。本校からは、4年生と6年生の2チームが出場し、他校の子どもたちと熱戦を繰り広げました。

4年生チームの「☆モンキーズ☆」は、昨年3位と健闘し、今年は惜しくも準優勝でした。優勝を目指して練習に打ち込んでいたため、立派な成績にも関わらずみんな悔し涙を流していました。6年生チームの「卍マイコちゃん」は、予選リーグでは接戦があったものの、決勝では相手を圧倒して見事に優勝をしました。どちらのチームも放課後に猛練習を重ね、実力を発揮することができたと思います。子どもたちはもちろん、一緒に練習をしていただいた保護者の皆様にも感謝いたします。



ちくちくとふわふわ…あなたはどちらを集めたいですか

全校朝会で、校長が「ちくちく言葉とふわふわ言葉」の話をしました。自分のことを棚に上げ、相手を非難したり排除しようと、しっかり考えずに口から飛び出してくる「ちくちく言葉」。相手のことを認め、尊重し、感動や感謝から生まれる「ふわふわ言葉」。お互いの思いや考えは、言葉を通してしか伝わりません。自分で自分の言動を見つめ、ふわふわ言葉をたくさん集めてほしいと思います。